

## 2019年11月の金融経済概況のポイント

### ■景気の基調判断

- 今月の基調判断も、2月以降の「道北地域の景気は、緩やかに持ち直している」との判断を継続しました。前年に生じた地震の影響による反動や、本年10月の消費税率引き上げに伴う駆け込みの反動から、影響を受けた項目では、前月公表分に続き、計数にやや大きな振れが生じています。
- 需要項目ごとの判断にも、変更はありません。観光は回復していますが、個人消費はやや弱めの動き、また、公共投資は持ち直していますが、住宅投資は減少しています。
- 雇用面や、金融機関の貸出の面についても、前回と同じ判断です。労働需給は引き締まっており、金融面でも、預金、貸出とも前年より増加しています。

### ■個人消費の動向

- 大型店売上高は、消費税率引き上げ直後の事務輻輳などから、10月の計数が揃わず、集計は来月に持ち越しとなりました。感触では、次のとおりです。まず、前年は、9月に地震による災害関連商品の好売上がみられ、10月にその反動減がみられたので、その対比では本年10月にプラスの効果が見込められると思われ、土日祝日の休日数が前年より1日多かったことも、売上高のプラス要因でした。他方、気温は平年より高めに推移し（旭川市の平均気温で平年比+1.0度）、季節商品の出足にとってはマイナスの材料でした。さらに、本年の消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減が大きく効いた様子です。合わせてみると、結局、大型店売上高は再び前年比マイナスになった可能性があります。

- 10月の新車登録台数は、前月に見られた駆け込みの反動等から、軽自動車、除く軽、合計とも前年を大きく下回りました。もっとも、合計の本年9、10月を合算したベースでは、若干ながら前年比プラスとなります。

## ■観光の動向

- 道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数をみると、10月は、引き続き前年に生じた地震の影響の反動も残り、女満別空港を除く3空港で前年を上回り、全体でも前年を上回りました。この間、旭川空港の国際線は、10月、本年、前年とも臨時便、チャーター便がない中、定期便が前年を上回っています。
- ホテル・旅館宿泊客数は、10月、前年に生じた地震の影響の反動が続き、前年比でプラスとなりました。一方、旭川市内のホテル客室稼働率は、10月、前年をやや下回りました。
- 各地観光施設の入込みは、10月、前年に生じた地震の影響の反動が続き、すべての観光施設で上回りました。合計でも前年を2か月連続で上回っています。

## ■公共投資の動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局における公共工事請負金額は、10月は宗谷で前年を上回りましたが、上川、オホーツクで前年を下回り、全体で前年を下回りました。もっとも、19/4月以降10月までの累計では、引き続き、3総合振興局とも前年を上回っており、全体でも前年を上回っています。

## ■住宅着工

- 新設住宅着工戸数は、9月、持家が前年を上回ったものの、貸家、分譲が前年を下回ったことから、全体でも3か月連続の前年比減少となりました。

た。

## ■住宅以外の建築物

- 建築物着工床面積（非居住用）は、9月、前年に大きめの前年比減少を示したオホーツクで本年、反動増となりましたが、逆に前年に著増をみた宗谷で大幅減少となったほか、上川でも前年を下回り、結局、3総合振興局合計でも前年を5か月振りに下回りました。この間、同合計の7～9月期は、前期の前年比マイナスから同プラスに転じています。

## ■雇用

- 雇用状況は、引き続きタイトな状況が続いています。有効求人倍率は、9月、北見で前年を下回りましたが、旭川、稚内、網走で前年を上回りました。新規求人数も、9月、網走を除き、旭川、稚内、北見で前年を上回っており、4つの職業安定所を合計した新規求人数でも3か月連続で前年を上回りました。新規求人数は、地震の影響で前年9月（前年比減少）、10月（同増加）がやや大きく振れましたが、本年は、9月として過去5年の中でみても高めの水準でした。

## ■金融動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局管下における金融機関貸出残高は、10月も前年を上回りました。10月まで8か月連続で前年を上回っています。

## ■今後のポイント

- 今後、道北地域の経済を見ていく上でのポイントとしては、①予想される国土強靱化関連や災害復旧工事等の公共工事に対する、人手不足の問題を抱える建設業者の受注状況や、②日本全体の輸出・生産や企業マイ

ンド面に海外経済の減速の影響が引き続きみられる中での今年度設備投資の推移に注目しています。

- ③消費税率引き上げの影響については、駆け込み需要の反動の影響は減衰してきているとの声も聞かれています。もっとも、今後の消費マインドへの影響については、今少し、注意して見てまいります。

以 上